

## 第1号議案

### 令和5年度 事業報告について (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

#### I 概要

令和5年度の経済状況は、コロナ禍の3年間を乗り越え、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きがみられる、反面、個人消費や設備投資は依然として力強さを欠いている状況の中、政府は、成長型経済へと「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を策定しましたが、高齢者の暮らしの動向を見ますと、約80.9%の高齢者世帯の方々が、家計にあまりゆとりがない・家計にゆとりがないとの報告がごございます。

シルバー人材センターを取り巻く状況は、令和5年10月からのインボイス制度が開始、令和6年11月1日(予定)からはフリーランス新法の実施と、今までになく事業運営に直接関係してくる激動の時代となってまいります。

この様な環境下の中、請負・委任事業に関しましては、前年度対比で契約金額は、約1,193千円の減収となり、派遣事業に関しましては、約1,435千円の増収となりました。

請負・委任事業で受注が減少した主なものとしたしましては、旅館・マンション管理などの屋外雑役並びに屋内清掃の減収と、除草作業につきましては、従事会員の退会による減収 約5,541千円の反面、受注が増加した職種として、建物管理・屋内雑役作業は、別府市・観光協会・病院・マンション等での新規受注により約4,852千円でごございます。

また、派遣事業に関しましては、対前年度で約1,435千円の増額となり、請負・委任 派遣事業の総合計としたしましては、約2億5千万円と昨年度とほぼ同額の推移となりました。

安全就業につきましては、令和4年度では事故等が14件と過去5年間で一番多く発生いたしました。

今年度は傷害事故5件 損害賠償事故4件 熱中症0件と、昨年度比で64%でごございますが、今後とも安全就業に趣を置き、事故0を目標に職種部会・安全委員会と共に周知徹底に努めてまいります。

続きまして、事業運営に関しましては、総収益約242,975,166円に対して総経費約239,156,326円となり、差引経常増減額は、3,818,840円と2年度連続の赤字から脱却することとなり、一般正味財産期首残高△1,405,162円を差引いての正味財産期末残高は、2,413,678円の増収となりました。

主な見直しとしたしまして、大幅な管理手法や権限の見直しや、インボイス対策を念頭に置いた事務費の値上げをお客様にお願いした事による結果と捉えております。

しかしながら、シルバー人材センターの事業運営は以前厳しい状況にある事には間違いございません。

更なる見直しや新たな試みを実施すべき、より広く、強く地域との連携を模索しながら、会員の皆様と地域で誇れるように努力をしております。

#### シルバー人材センター事業

#### 受託事業（請負・委任）の年度別実績

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
受託件数		5,067件	4,932件	4,947件
契約金額		197,791,916円	213,731,375円	212,537,722円
内訳	公共	52,959,823円	69,300,933円	69,191,122円
	民間	144,832,093円	144,430,442円	143,346,600円
配分金額		156,543,802円	168,420,502円	165,501,909円
会員数		468人	448人	456人
就業延人数		45,521人	45,439人	45,412人
就業率		77.4%	78.1%	80.3%

令和5年度の受託件数は前年度より15件増加、契約金額は昨年より1,193,653円（0.6%）の減収となり公共部門109,811円（0.2%）減収、民間部門1,083,842円（0.8%）減収となっております。

また、会員数は8名の会員増となり、今後急激な増加は見込めないが、退会の抑制と女性会員獲得に努め確実な会員拡大に向け取り組んでまいります。

#### 派遣事業の年度別実績

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
契約金額	30,591,727円	34,135,922円	37,797,309円	39,233,161円
就業実人数	47人	55人	55人	62人
就業延人数	5,314人	5,867人	6,430人	6,319人

令和5年度の派遣事業は、就業実人数は昨年度と同数で契約金額1,435,855円（3.8%）の増額となり、順調な伸びとなりました。

令和5年度も引き続き派遣事業に積極的な取組を行い、県連合と連携・協力をしながら、業種の拡大にも取り組んでいきたい。

## II 重点実施事業

### 1 安全・適正就業対策の強化

安全就業は重点実施事項で最優先されるもので、年間事故ゼロを目指し、安全委員会の開催、現場巡回など実施しましたが、傷害事故 5 件、賠償事故 4 件の事故が発生しました。

昨年と比較いたしまして、傷害事故は 5 件減少、賠償事故は前年と同じであり、傷害事故につきましては、途上途中や屋内作業時の事故と例年になくい事故が見受けられましたので、技能部・軽作業部別会議を緊急に招集し、安全作業の励行に努めて頂くよう指導を行った。

### 2 会員の拡大強化

会員獲得に向けたボランティア活動等の実施に報道機関(今日新聞・別府ケーブルテレビジョン)のご協力を得ると共に、観光都市別府の美化活動に 2 度努めました。

シルバー人材センターのパンフレットを、公共機関(各市役所出張所)やハローワークに置かせていただき、市民向けにシルバー人材センターの普及啓発に努めました。

また、別府郵便局内でデジタルサイネージの入会促進向けの広告放映による会員獲得広告の掲載を実施いたしました。

県連合会主催による技能講習会並びに就業体験の効果で新規会員の獲得となりました。

この様な事業の広報活動により、昨年度より 8 人ではございますが、会員増につながりました。

今後は女性会員獲得に向け、新たな手法の検討会を女性役員並びに職種部をも巻き込んで進めてゆきたいと考えております。

### 3 就業機会の拡大

屋内雑務・家財処分作業は昨今の社会環境の中で、受注増加傾向がある一方で、別府の特有である公衆浴場の清掃等従事会員の年齢的退会による受注減に歯止めがかかりません。

その事から、各職種別に会議や女性部に対し(SNS)で女性会員にむけて、現在の受注状況やミスマッチを解消すべき会議も開きました。

### 4 運営(組織)基盤の強化

今年度 10 月から施行されたインボイス制度や大幅な物価高騰約 2.1%の煽り、定年延長などの社会情勢の変革を受け、事業収益は前年と比べ約 564 千円の減収となりましたが、経常費用は前年比べ約 6,927 千円と前年と大きく減額となりました。

冒頭でご説明いたしましたが、管理や権限の見直し、インボイス対策を

念頭に置いた事務費の値上げによる効果ではないかと推測しております。

来年度はさらにフリーランス新法の11月実施予定や、資源価格の高騰、急激な円安による物価上昇を念頭に置き、事業費・管理費の経費削減を実施し、更なる経常経費の見直しをしていかなければなりません。

## 5 第2次 中長期計画（令和3年度～令和7年度まで）

### 中長期3年度目 推進計画の数値目標と事業実績

区分	会員数	請負契約金額	受注件数	粗入会	就業率	就業延人数
目標	470人	212,000,000円	3,300件	1.03%	90.0%	50,760人
実績	456人	212,537,722円	3,188件	1.0%	80.3%	45,412人
差異	△14	537,722円	△112件	△0.03	△9.7	△5,348
達成率	97	1.002	96.6	97	89	89

推進計画の目標値は請負契約金額を除く部門は達成することが出来ませんでした。

全部門での傾向といたしましては、新規会員の入会や職種に偏る傾向があるものと察しております。

今後の対策といたしましては、女性会員への就業促進並びに、地域性にあった就業職種へのアプローチなどに主を置き、中長期計画を遵守した事業運営を行ってまいります。

また、新規職種へのスキルアップを行い、会員の就業時における資質の向上の取り組みを行っていききたいと思います。

## III 会議等

令和5年度定時総会	6月16日
理事会（5回）	5月18日 6月16日 11月30日 3月26日
決算監査	5月18日
安全委員会（5回）	10月11日 11月15日 2月7日 2月16日 3月21日
職種部（1回）	5月25日 2月7日 2月16日
入会説明会（12回）	毎月10日開催（但し休日等の場合は前日）

## V 事故状況報告

令和5年度における事故の状況は次のとおりです。

### ○傷害事故(人身)

発生日	負傷部位	発生状況並びに経過
6月	右大腿骨骨折	温泉管理作業の途上途中に転倒
7月	頭部裂傷	剪定作業中梯子から転倒
9月	左小指一部切断	剪定作業中にはさみで一部切断
11月	両足骨折	剪定作業中梯子から落下骨折
2月	左肩剥離骨折	清掃作業中につまづき骨折

### ○賠償事故(物損)

発生日	破損部位	発生状況	修理代
4月	自動車両損傷	草刈り作業中の飛び石	218,000円
8月	自動車両損傷	草刈作業時に損傷	310,000円
9月	カーポート・車両損傷	草刈作業時に損傷	1,530,696円
9月	自動車ガラス損傷	草刈作業中の飛び石損傷	47,971円

### ○年度別事故の発生状況

年 度	傷害事故件数	賠償事故件数	事故総件数
令和元年度	3件	6件	9件
令和2年度	4件	4件	9件
令和3年度	3件	4件	7件
令和4年度	10件	4件	14件
令和5年度	5件	4件	9件

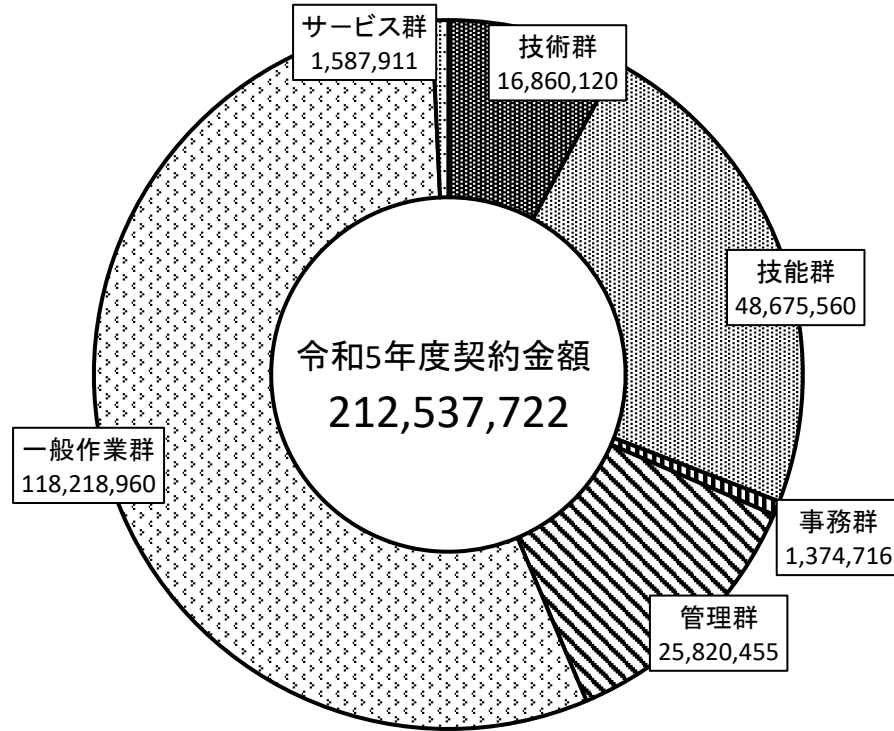
## 令和5年度 受託事業実績

(単位：円)

月	登録会員数 (月末人)		就業人員	就業延人員	契約件数及び金額				
					受注件数及び金額		公共・民間別契約内訳		
4	464	男性	340	261人	3,056人	327件	公共	46件	4,364,496
		女性	124	56.3%		13,873,627	民間	281件	9,509,131
5	461	男性	337	264人	3,712人	258件	公共	22件	4,520,342
		女性	124	57.3%		16,253,503	民間	236件	11,733,161
6	470	男性	344	276人	4,285人	304件	公共	24件	5,523,707
		女性	126	58.7%		20,120,457	民間	280件	14,596,750
7	426	男性	316	272人	4,344人	315件	公共	25件	6,540,837
		女性	110	63.8%		20,468,726	民間	290件	13,927,889
8	421	男性	313	266人	4,019人	292件	公共	25件	6,549,342
		女性	108	63.2%		19,469,530	民間	267件	12,920,188
9	425	男性	316	271人	4,388人	303件	公共	31件	7,804,758
		女性	109	63.8%		21,637,275	民間	272件	13,832,517
10	433	男性	322	271人	4,490人	356件	公共	29件	6,494,158
		女性	111	62.6%		21,962,155	民間	327件	15,467,997
11	439	男性	326	269人	4,236人	360件	公共	26件	6,414,870
		女性	113	62.7%		20,796,647	民間	334件	14,381,777
12	445	男性	331	270人	3,881人	276件	公共	13件	5,172,447
		女性	114	60.7%		17,729,684	民間	263件	12,557,237
1	451	男性	336	250人	3,287人	152件	公共	16件	6,142,698
		女性	115	55.4%		15,280,777	民間	136件	9,138,079
2	455	男性	340	234人	2,750人	118件	公共	15件	4,171,280
		女性	115	51.4%		11,573,564	民間	103件	7,402,284
3	456	男性	340	250人	2,964人	127件	公共	22件	5,492,187
		女性	116	54.8%		13,371,777	民間	105件	7,879,590
計	就労人員		366人	45,412人	3,188件	公共	294件	69,191,122	
	就業率		80.3%		212,537,722	民間	2,894件	143,346,600	

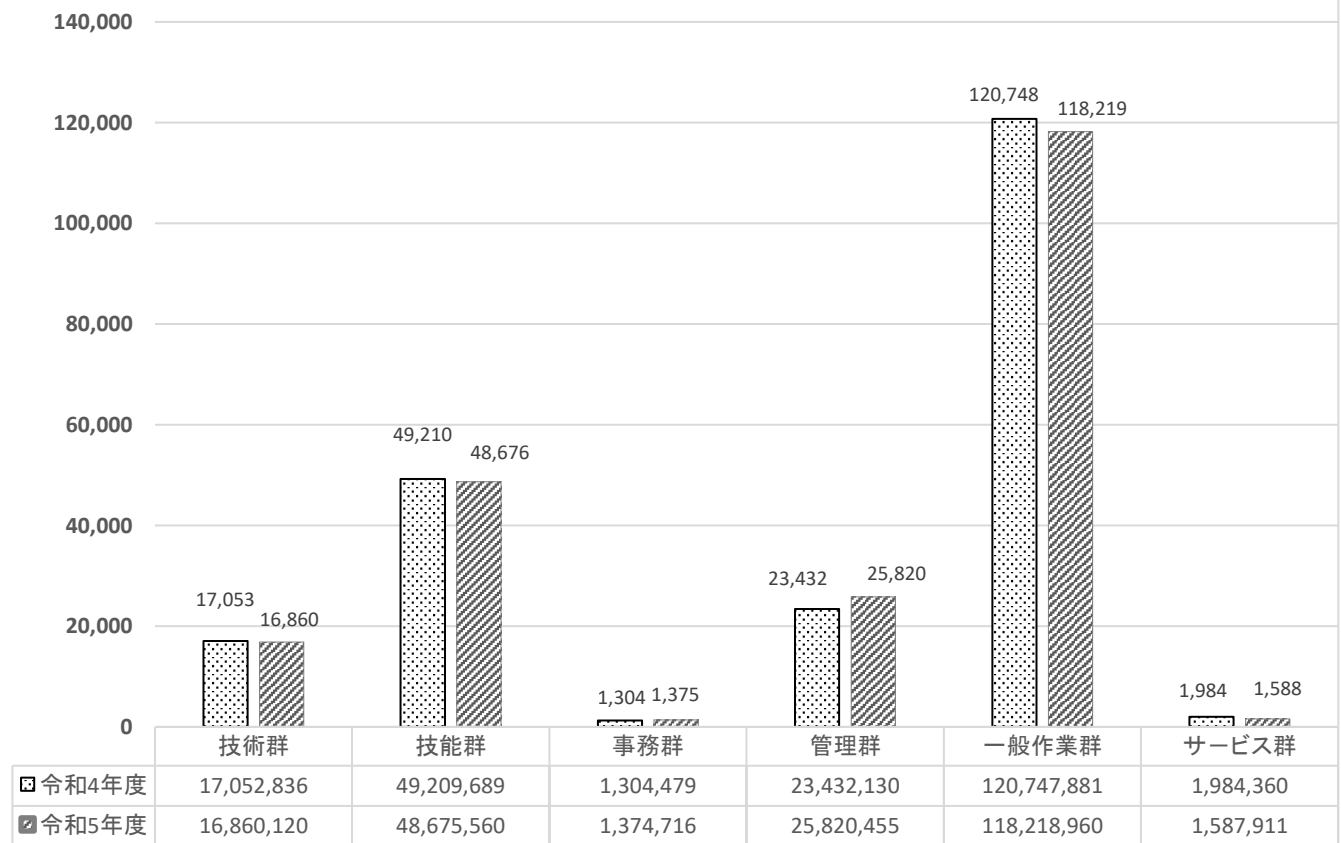
# 令和5年度 職群別契約金額概況

(単位：円)



## 令和4年度・令和5年度 職群別比較表

単位:千円



技術群	技能群	事務群
<b>主な仕事</b> ・資格を必要とする作業	<b>主な仕事</b> ・大工、塗装、剪定、表具等作業 左官、縫製等作業	<b>主な仕事</b> ・整理事務、筆耕・宛名書き等作業
管理群	一般作業群	サービス群
<b>主な仕事</b> ・建物、駐車場管理、商品管理 その他の管理等作業	<b>主な仕事</b> ・屋内外清掃・雑務、草取、草刈 荷物の運搬、調理・食品関係作業	<b>主な仕事</b> ・福祉、家事援助、軽度支援等作業 その他のサービス作業